

人気の桃。日本は「白桃」、欧米は「黄桃」

弥生時代に中国から伝わったとされる桃。当時の果肉は黄色くて硬く、今のように甘くなかったため、主に花の観賞用だったと考えられています。

甘くて美味しい桃の品種改良が進んだのは明治以降で、なかでも1899年、「果肉が白くて柔らかい、とても甘い桃」が岡山で生まれました。これが現在の様々な「白桃」系品種の元祖になったと言われています。

欧米などでは、果肉が黄色くて固めの「黄桃」系品種が主流です。特に

アメリカ産の缶詰は人気があり、世界中に輸出されています。

ちなみに「水蜜桃(すいみつとう)」という名前を聞くことがありますが、これは品種名ではなく、中国産の桃全般を指す言葉と言われています。

